

新 年 ご 挨拶

会長 小亀輝雄

今年も新しい年がやってきました。昨年3月に東日本をおそった大災害は未曾有の被害をもたらし、多くの尊い人命が失われ、放射能汚染はいまも消えない不安と恐怖を残しています。このことを考えると、「おめでとうございます」と素直に言えない気持ちもします。とにかく、被災者の方々が一刻も早く、落ち着いた生活が出来るよう、全国民が、復興を支援していかなければと思います。

さて、東村山稲門会も、大西・山下・三宅歴代会長のご努力や、会員皆様のご支援・ご協力の陰で、16年目を迎えることができました。この間活発な活動が続けることが出来、当会の誇りであります、このニュースも178号となりました。「総会」「新年会」「お花見会」「納涼会」「お誕生会」なども多くの皆様にご参加頂き、楽しい会になっております。隔月に行っております「雑学講座」も75回となり、市民の参加者も増えてきています。また各同好会も世話人の方々のご努力で活発な活動が続けています。今年もどうか一人でも多くの皆様が各種行事に参加頂けることを心から願っております。初めは、ちょっと参加しにくいと思われる方もおいでになるかもしれませんが、お出で頂ければ、大歓迎いたしますし、必ず素晴らしい、新しい出会いがあると思います。また、新しい同好会を立ち上げたいと思う方は是非お申し出ください。

東日本大震災支援も、多くの会員の皆様のご協力により、WASEDAサポーターズ倶楽部に120万円程の支援を行うことが出来ました。ひとつの稲門会としては大変な額であると思いますが、この支援の輪を風化させることなく、全国の稲門会に広がっていくことを心から願いたいと思います。

少子高齢化がますます進み、高齢者には生きることも、死ぬことさえ難しい時代になりました。そういう中で、稲門会は、早稲田で学んだという「誇り」と「縁」を大切にして、地域社会の中でも何ができるかを考えながら、会員の皆様に「稲門会があってよかった」と思われるような楽しい会を作っていきたいと思います。今年もどうかよろしく願いいたします。

会からのお知らせ

「新年会」

12月号のニュースでご案内済ですが、まだ返信の葉書を出されていない皆さまもおられます。多くの会員やご家族の方々のご参加をお待ちしています。

記

日時：平成24年1月22日(日) 午後5時～午後7時30分
場所：サンパルネ・コンベンションホール
(東村山駅西口 駅ビル2階) 電話395-5115
会費：4,000円 (同伴者は2,000円)
お楽しみの福引抽選会もあります。

新年会についての照会は、事務局長の當間昭治宛願います。 電話 391-6023

○ 平成24年2月 定例役員会

日時：平成24年2月4日(土) 13:00～14:30
場所：ふるさと歴史館・視聴覚室
役員会には、会員の皆様はどなたでも参加できます。ぜひご出席頂き、稲門会の活動等について、ご意見をお聞かせください。

○ 第76回雑学講座

日時 : 平成24年2月4日(土) 15:00～16:30
場所 : ふるさと歴史館・視聴覚室
講師 : 藤澤 博恭氏(会員 S29政経卒 元アサヒビール副社長)
演題 : 「ビール屋人生に華(はな)あり」

藤澤氏には、平成11年1月9日に開催された本雑学講座の、第1回の講師を務めていただきました。

47年間にわたるビール会社勤務で体験された業界の浮沈と現状を、藤澤氏の人生を支えてくれた「花」との付き合いにからめて、楽しくお話していただきます。

本講座は市民の皆さまにも開放しています。もちろん入場無料。会員の方々、ご家族共々是非ご参加ください。

○ 23年度会費納入のお願い

11月20日開催の第16回定時総会で23年度の予算や活動計画が承認されて、今年度の稲門会活動が本格的に始まりました。

23年度(平成23年11月から24年10月)の年会費5,000円を、下記の方法で1月末日までにお振込みいただきますようお願いいたします。

- ① 郵便振替口座 同封しました専用の振込取扱票をご利用ください。
番号: 00160-0-112250 名義: 東村山稲門会

- ② 銀行普通預金口座
みずほ銀行 久米川支店 口座番号: 1876557 名義: 早稲田大学東村山稲門会

なお、11月の定時総会に出席された会員については会場にて納入いただいております。

○ 退会

室井秀嗣さん 秋津町5-30-1-221 (長野県に転居のため)
佐藤清彦さん 恩多町3-41-22 (一身上の都合により)

☆2011年商議員フォーラム☆

2011年商議員フォーラムが12月10日大隈講堂で開催された。日枝商議員会長の挨拶の後、①近年の早稲田大学における教育プログラムについて大野教務部長から講演があった。その中で大野教授は早稲田大学が育成するグローバルな人材として

●人の痛みを自らの痛みとする ●自らを笑って犠牲にできる ●人々を牽引できる
●人種・国や文化を区別せず早稲田DNAを体現する ことをあげられ、早稲田の多様な教育プログラムは「他者の立場・幸せを最優先で考え他者のために汗を流せる人材」育成を目指すと話された。私は卒業生として我が身を省み、恥じるとともに、大学がこのような明確な教育方針を持っていることを誇らしく思った。

②続いてオープン教育センター所長の嶋村和恵教授からオープン教育センターの取り組みについて話された。現在オープン教育センターでは学部授業以外に約3000科目が用意されており、学生が選択できること、さらに早稲田大学が入学後身に付けて欲しい3つのチカラ ●英語コミュニケーション力 ●文章作成力 ●数学的思考力 をつけるため、特別の授業をしていることが報告された。最後に学生によるプロフェッショナルズ・ワークショップの取り組みについての話があり、商学部の学生が「日産」のCOOの前で行った、プレゼンテーションの実演があった。

昨年11月20日に開催された第16回定時総会に、来賓として出席いただいた常任理事の内田勝一副総長から、小亀会長宛下記のようなお礼の言葉がありました。

東村山稲門会 会長 小亀輝雄様

早稲田大学常任理事 内田勝一

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、母校ならびに校友会のためにお力添えを賜り、深く感謝いたしております。

このたびの東村山稲門会定時総会・講演会・懇親会の際には、地域担当副部長の一橋ともども、ひとかたならぬご歓待にあずかり、衷心より厚く御礼申し上げます。特に、大野高裕教務部長の講演「グローバル化を推進する早稲田大学」では、大野の早稲田を愛する熱い気持ちが伝わってきて、多くの出席者の方々とともに、教職員であるわたくしどもも改めて大きな感銘を受けた次第です。

また、結構なお土産まで頂戴いたしまして、恐縮に存じます。

さて、本学は、国際化への対応や、新しい時代の要請に応える学問の発展をめざし、たゆまぬ研鑽のもと、着実に成果をあげて参りました。そしていま、これまでの「Waseda Next 125」計画に盛り込まれた基本的な方向性を踏襲しつつ、地球社会における知の具現を目指し、挑戦し続ける人材を送り出す新たなビジョンの策定に向け、準備を進めています。

今後とも、グローバルな人材の創出と循環を通じて磨かれる研究が人類の叡知を拡充・組織化し、地球規模の課題の解決に貢献するとともに、異文化と共存した、持続可能な世界を構築していく大学をめざし、益々の努力を続けて参る所存です。

校友会でも、母校支援費の割合を年間予算の50%を目標に引き上げ、より一層の母校・後輩学生の支援に取り組んでいます。貴会におかれましても、会員の皆様の校友会費納入促進ならびにWASEDAサポーターズ倶楽部へのご協力をいただければ幸いに存じます。

末筆ながら、貴会のますますのご発展と貴台のご健勝を心より祈念し、また今後とも変わらぬ母校へのご支援とご協力をお願いしつつ、御礼のご挨拶を申し上げます。

敬具



旅行会のご案内

中断していた旅行会を再開することになりましたので、多くの会員の参加を歓迎します。

旅行日時： 平成24年5月16日（水）～17日（木） 1泊2日
宿泊地： 草津温泉 ホテル高松
交通手段： メモリー観光・貸切バス
行程： 予定
（初日）東村山駅—榛名湖—伊香保周遊—水沢観音—吾妻峡—草津温泉
（2日目）白根火山（お釜見学）—旧軽井沢散策—東村山駅
参加費： 25,000円以内
集合時間： 追って確定（午前8時東村山駅東口ロータリーを予定）

ご参加の申し込みは下記世話人まで、お願いいたします。
貸切バス確保の都合上、来る2月29日までをいったんの締め切りとさせていただきます。

世話人： 代表 高橋正夫（TEL309-3407） 青山稔（393-8372）
赤荻洋一（393-6432） 額田伊久夫（393-1191）

第75回 雑学講座 報告



映画会 「二十四の瞳」

平成23年12月10日 14:30～17:30
東村山サンパルネ・コンベンションホール

昨年12月、第70回雑学講座で初めて映画会を催した。題名は「若草物語」、今回は邦画の名作「二十四の瞳」を上映した。会場には94名の方が集まり、其の半数以上が一般市民の方の参加であった。

「二十四の瞳」は1954(昭和29年)、57年前に制作された古い映画である。小豆島を舞台の壺井栄の代表作であり、同時に木下恵介監督、高峰秀子の代表作になった。この年のキネマ旬報のベストテン第1位を獲得。この映画は、参加された殆どの方が既に若い時に見ておられる。

年を経て、今回鑑賞すると、又違った感動を覚えた・・・と言う方が多かった。と言うのも物語は80年前の軍国主義の色濃く、泥沼の戦争の時代であり、私共は実際に同じ体験をしたが、今は世も大きく変わり、歴史的な事柄として、冷静に対座出来る様になったからかも知れない。

文芸作品としても秀逸で、最も感動の場面は、ラストの田村高廣演ずる盲目の青年が、小学1年生の12人の写真に語りかけるシーンである。涙なくして見られなかった。高峰秀子が青年の横で涙する演技も感動的である。

この映画には、いわゆる映画音楽は使われていない。全編に小学唱歌、叙情歌が散りばめられ、一層叙情性が高められて居る。「仰げば尊し」は、冒頭と最後、そして劇中にもかなり使われているが、今はこの歌を聞く機会は殆ど無い。他の小学唱歌、叙情歌も含めて、この映画はこれらの歌を、後世に伝える役目も担っているとも言える。

12人の子役達の、1年生と6年生時代の配役は、全て実際の良く似た兄弟、姉妹で選ばれた。

直ぐに判るほど良く似ていた。全くの素人なのに、素晴らしい演技であった。監督、撮影スタッフの苦労はいかばかりであったろうか。

56年前は当時未だ技術的に未熟で感度も(ISO 32)、品質も低いレベルの白黒フィルムが使われた。長い年月に画調は劣化し、摩擦から画面に傷が付き、画質が大きく劣化した。これを今回デジタル・リマスター技術によって一枚一枚修正して、当時と同じレベルの画質に修正され鑑賞する事が出来た。現在多くの古い名作を、このリマスター技術で甦らせている。



.....

今回参加頂いた中に、東村山市 日中友好協会 理事・中国語講師 内藤小詠先生 から感想を頂きました。以下ご紹介いたします。(池田さん(稲門会・日中友好協会会員)の取材に依る。)

＊ 私は、中国東北部 瀋陽を省都とする 鞍山市の出身です。其の郊外は風光明媚 且つ 牧歌豊かな田園地帯で、小豆島の貧しくも心触れ合う境遇の中で強く生き抜く場面は、故郷中国でも全く同様に、共感すると同時に、其の当時は懐かしく思い出され感激しました。大石先生の心優しさ、子供達の素朴さ天真爛漫さに感動、そして同窓会での再会は、涙に咽ぶ名場面でした。音楽も懐かしく、中でも「七つの子」はわが子を育てた時の昔日の面影が脳裏に沸いてきました。

青春時代は中国の教員資格(国家資格)をとり、故郷で「あどけない子供達の先生」になろうと志していました。正に <優しく 共に涙を流す大石先生> のイメージと重なり 涙ながらに思い出します。

日中の不幸な時代の史実は有りましたが、中国の友人とこの映画の鑑賞会を催し、大いに語り、楽しんで参ります。互いに国民同士 深く理解し合えるものと信じます。

是非 今後も 日本の歴史的な名画の上映会を期待しております。有難うございました。

福田昇七(S36理工院)記

同好会だより

当会会員の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

ゴルフ同好会

世話人 石川 武

TEL 394-4702

第3回校友会ゴルフに参加して

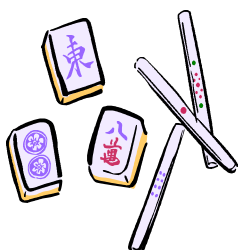
紅松 喬 (S45商)



11月10日に久邇カントリークラブに於いて第3回校友会ゴルフが開催され東村山稲門会を代表して、相馬さん、益田さん、吉田さんと私の4人が参加しました。当日は小春日和の好天に恵まれ166人の大コンペとなりましたが、経験者の相馬さん、益田さんは流石に雰囲気にも飲まれることなく余裕が感じられ、吉田さんと私は初めての参加で若干緊張気味でした。それでも久邇のメンバーの石川さんのご配慮で事前プレイをしていたので、かなりの高速グリーンにもそれほどビックリしなくて済みました。4人それぞれ別々の組でまわり、結果は相馬さん99位、益田さん108位、吉田さん112位、紅松30位でした。新ペリア方式なのでスコアと順位は必ずしも連動せず、今回の優勝者は何とグロス105の方でした。

団体戦は45チーム中28位でした。ルールも緩やかな、懇親が目的の楽しいコンペで数々の賞品も用意されていました。来年度は2組くらい参加して沢山賞品をもらってみたいと思います。

麻雀同好会

世話人 小野 智
松永 常尚TEL 391-9523
332-5621

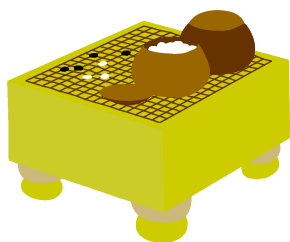
第55回大会を去る12月17日(土)、麻雀サロン園にて開催しました。参加者12名(3卓)なるも、定人数不足にて急遽、青木氏(国分寺稲門会)に助人を頼んで、定刻から3雀戦を繰り広げました。しかし、雀荘(2回目)も変わった故か、アルコールを口にする人が一人も居なかったことは嘗ての稲門麻雀会を思い起こすと、一抹の寂しさを感じたのは、只飲み助世話人の懐旧かも知れません。優勝者は大会以来7回目の経験になる小野氏。世話人で何かと世話役をこなしながらの優勝の栄冠は実力ナンバーワンである事が証明されました。準優勝はその回数が一番多い土橋氏。当日の参加者は、青木、赤荻、阿部、石塚、小亀、佐野、田口、當間、額田、松永の各氏でした。戦いが終わった後、丸藤にて忘年会を兼ねた懇親会は当日樽から開けた「賀茂の鶴」を飲みながら、大いに盛り上がりしました。

尚、大会以来(97年8月)黄泉の国に旅立たれた会員(鈴木、柴田、芦田、朝木、吉田、番場の各氏)6名の方のご冥福を祈って黙禱を捧げました。会員の方がいろいろな理由で段々減ってきている現実には甚だ残念なことです、只そのなかでも近隣稲門会(国分寺、小平)の麻雀会を開こうとの動きもでています。

次回第56回大会は、24年3月18日(日)に予定しています。

(松永記)

囲碁同好会

世話人 福田 晃
高 鷲 近TEL 394-0593
394-2336

●12月17日(土)、いつもの市民センター別館で、「例会」が開催され、9名の方が参加されました。今回は、去る10/15に行われた「第23回東村山稲門会囲碁大会」のBグループの優勝決定戦も兼ねて行われました。

その結果、江藤さんが混戦を抜け出し、見事優勝！ 江藤さんは、近年、棋力の向上が見られます。われわれ若いもの(?)にとっても、良い励みになります。

<参加者/敬称略> 一色・江藤・佐久間・杉山・高橋(鶴)・高鷲・中川・福田・八木

○次回の「例会」は、平成24年2月18日(土)を予定しています。詳しくは、次回の「ニュース」でお知らせします。

ウォーキングの会

世話人 高橋正夫 TEL 309-3407
阿部茂 332-0298



今回のウォーキングは地元中の地元、空堀川 → 柳瀬川 → 金山遊水池を歩きます。散歩コースに組み込まれている方も多いかと思いますが、今回は一味違って、バードウォッチングをしながら歩くという趣向です。バードウォッチングというとなつつきにくいと思われるかもしれませんが、鳥の名前を覚えると親しみがわくものです。

12月7日に歩いてみたのですが、14種類を見つけました。真冬になると20種類以上になると思われます。カワセミも5割ぐらいの確率で見ることが出来ます。

日時 : 1月29日(日)

集合、解散場所 : 久米川駅北口に9時集合、秋津駅で解散

コース : 久米川駅交番の角を曲がり、空堀川を下流に歩く → 西武新宿線をくぐってどんどん歩く → せせらぎ公園に寄る → 柳瀬川に合流、川原を歩く → 金山調節池に到着 → 金山緑地公園を歩いて秋津駅へ

その他 :

1. 少し距離がありますので(12キロ位?)途中参加を歓迎します。(9時久米川駅発、9時40分ごろ新空堀橋<所沢街道>通過、10時ごろ野塩橋<志木街道>通過の見当で歩きますので、途中の橋等で待ち伏せしてください。)
2. バードウォッチングは双眼鏡がないと面白さが半減します。私は4台持っていますが、お持ちの方は是非ご持参ください。
3. 厳冬の折、空っ風がモロに吹き付けます。防寒対策はしっかりお願いいたします。
4. 例によって空模様が怪しい場合は、8時30分までに阿部までご連絡、ご確認ください。

カラオケ同好会

世話人 内藤 慎 TEL 393-5071



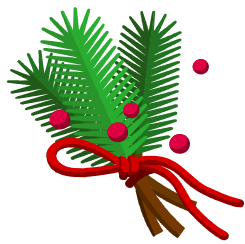
一年の締めくくりの忘年会とカラオケ優勝大会を12月10日開催しました。体調不調等の為参加者は5名と少し寂しいきらいはありましたが、本年最後の例会のために皆はりきって楽しく歌いました。

一曲集中で全員一曲歌い競いました所、井垣氏と井手氏が同点となり両者によるプレーオフを行い、最後に89対88と井垣氏の勝利するところとなり短い時間では有りましたが熱の入った楽しい一夜、充実した忘年会でした。私は風邪を引き歌も歌えません。

皆様も健康に留意の上明るい新年をお迎え下さるよう祈願いたします。

俳句同好会 (稲酔会)

世話人 井垣和太 TEL 04-2924-2934



第59回は12月24日(土)、午後2時から「丸藤」で開催しました。クリスマスイヴと重なりましたが、顔を揃えたのが井垣稲雀、風間和夫、幸田瑞雄、小亀稻生、小永井哲哉、内藤慎、丸本北窓の7名。投句参加が出田麦穂、高部糸行、戸田梶、八木竜湖の4名。兼題「年忘れ」や、年末の風景、生活、感慨などを詠んだみなさんの54句を、鑑賞、互選して、楽しく勉強をしました。午後5時過ぎからは、そのまま文字通りの忘年会に移り、外は東村山駅での脱線事故で大騒ぎなのも露知らず、大いに飲み且つ歓談の内に1年の作句の労を癒しました。

参加者による互選の結果、

年つまる古書より落ちし正誤表 哲哉

が、今回の最高点句に選ばれました。年の暮の大掃除の場でしょうか、赤茶けてきた本を取り出しばらばらとページを繰っていたら、はらりと正誤表が落ちてきた……。そんな瞬間の景を捉えた句ですが、読む人を学生時代にまでタイムトリップさせる力がありますね。

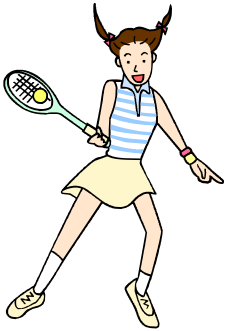
今年最初の第60回(10周年)「稲酔」俳句会は、2月25日(土)に開催予定です。

兼題はずばり「二月」です。

(稲雀記)

テニス同好会

世話人 田島 隆夫 TEL 396-7676

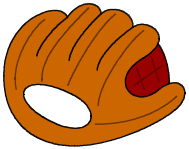


11月は予備日にも練習をした。11月26日(土)9時から11時まで運動公園 Aコートに集合したのは、市川晴、高橋一、當間、野田夫妻、野村茂の各氏と田島の7名。今回から野村直さんが、時々、コーチをしてくれることになり、今日はその1回目である。ストロークのフォアとバック、次いでボレーの練習をした。野田さんが球出しをしてくれ、我々はそれを打つわけであるが、なかなか思うように打てない。苦戦すること約1時間、その後はいつものようにダブルスの試合をして楽しんだ。天候は晴。

12月の例会は、12月18日(日)9時から11時まで運動公園 Aコートにて行われた。参加者は、石塚、市川彰、小管、滝来京、野田夫妻、野村茂の各氏と田島の8名。少し寒かったが青空の下でゲームを楽しむことができた。12月も予備日に有志で練習することになった。

〈新年1月の予定〉

例会： 1月15日(日) 13時～15時 久米川コート 3番
予備日： 1月22日(日) 9時～11時 運動公園 Aコート



大嶋 匠！ “ワセダ” が動いた！

早稲田大学人間科学部教授
早稲田大学ソフトボール部監督
吉村 正(S44教育)

大嶋匠が10月27日に行われたプロ野球ドラフト会議で、北海道日本ハムファイターズの7位指名を受けた。当日の記者会見で彼は、「僕は小学校3年生から6年生まで4年間は少年野球、中学、高校、大学の10年間はソフトボールをプレーしました。プロ野球ではゼロからの出発ではなく、マイナス2・3からのスタートです。」と謙虚に語った。立派な男に成長した。

彼がプロ野球に進むということは、小・中・高校生の男子ソフトボール選手に「大きな夢」を与えることになる。また、その上今まで「男子が(女子が行う)ソフトボール？」と言われ続け、悔しい思いをしてきた先輩のソフトボール選手たちにもとてつもない「大きな喜び」を与えた。

さて、私が彼をプロ野球の世界に行かせたいと考え始めたのは、彼が大学2年生の秋頃からである。彼は走攻守3拍子揃った名捕手であるのに加えて、早稲田大学の良き友人、先輩、後輩に恵まれ、人間的に日々成長していた。そして身体的にも少しずつ大きくなっていった(入学した時は、身長1メートル77センチ、体重83キロ、現在は1メートル80センチ、体重100キロ)。その彼の成長する姿を見て、これは彼を男子ソフトボール界のみに置いておくのはもったいない、ソフトボールと類似したプロ野球にトライさせたいと考えるようになった。それからというもの、彼に「プロに行け、メジャーを目指せ」としよっちゅう言うようになった。そうは言っても、彼は他の選手より実力が突出しているせいか、やる気(モチベーション)が下がる時もあった。そのような時には、私の先輩であり友人である荒川博先生に、打撃を見てもらい、先生から「君は王貞治に負けない天性のホームランバッターだ」などとも言ってもらった。ドラフトにかかるまで節目節目で計4回ご指導頂いた。また、昨年には、私の人間科学部通信制のゼミ生であった田辺徳雄(現西武ライオンズコーチ)君にも、打撃のチェックをしてもらった。いい評価を頂いていた。私の目だけで、一人の魅力的な学生をプロ野球に挑戦させるのは、とてもリスクが高いと判断したからである。

今年の4月6日、人間科学部OBの大淵隆日ハムスカウトに所沢のグラウンドに来てもらった。昨年斉藤佑樹君を指名した男である。それからというもの、10月1日、日ハムの入団テストを受けるまで、水面下で様々な交渉を続けた。10月10日から20日まで日ハムの二軍のブルペン捕手としてアルバイトを努め、プロ野球の投手のボールを正確に捕れるかどうかチェックされた。そして、日ハムのスカウト7名、二軍監督及びコーチ、GMと梨田監督たちの総意で7位指名が実現した。

大嶋匠という類いまれな逸材、その才能を2年半前に認めて下さった荒川博先生、田辺徳雄君の好意と有益なアドバイス、大淵隆スカウトの英断、これら総てに共通するのが、“ワセダ”であり、“進取の精神”である。

ソフトボール界から、プロ野球界という未知の世界に入る大嶋匠の挑戦と若者の夢をかなえてやりたいというOBの「心」と「気持ち」が一体となってこの快挙が誕生した。

私が今彼にアドバイスするのは「マイナス2・3からの出発だ。人の3倍は努力しよう」である。東村山稲門会の皆様、大嶋匠の「進取の精神」と「挑戦」を暖かく見守って下さい。

同好会等 短期予定表

同好会・行事	1月（ニュース掲載月）					2月（予定）					世 話 人 （問合せ先）	
	日	曜	時 間	場 所	備 考	日	曜	時 間	場 所	備 考		
ウォーキングの会	29	日	9:00～	金山調整池		—	—	—	—		高橋正	042-309-3407
郷土史の会	—	—	—	—		*	*	*	*		江藤	042-391-4076
テニス同好会	15	日	13:00～15:00	久米川コート3		12	日	13:00～15:00	運動公園A		田島	042-396-7676
	22	日	9:00～11:00	運動公園A	予備日	25	土	9:00～11:00	運動公園A	予備日		042-396-7676
囲碁同好会	—	—	—	—		18	土	13:00～	市民センター別館		高鷲	042-394-2336
カラオケ同好会	14	土	19:10～	カラオケランドブー		4	土	19:10～	カラオケランドブー		内藤	042-393-5071
園芸の会	27	金	15:00～17:00	スポーツセンター		—	—	—	—		當摩	042-396-3033
麻雀同好会	—	—	—	—		—	—	—	—		小野	042-391-9523
音楽同好会	—	—	—	—		*	*	*	*		高橋文	042-393-2676
俳句同好会	—	—	—	—		25	土	14:00～	「丸藤」2F		井垣	04-2924-2934
ゴルフ同好会	—	—	—	—		—	—	—	—		石川	042-394-4702
雑学講座	—	—	—	—		4	土	15:00～16:30	ふるさと歴史館		當間	042-391-6023

— : 対象月に開催予定無し * : ニュース編集時点で未定。詳細は世話人にお問合せ下さい。

編 集 局 だ よ り

○運動不足の解消と健康のために、ウォーキングをしています。毎日欠かさずと言いたいところですが、雨にも風にも負けていて、お天気の良い日に出かけることが多いです。コースも毎回同じではなく、多摩湖方面、空堀川などその時の気分で決めています。すると今まで知らなかったいろいろな発見がありました。多摩湖から眺める冬の富士山の美しいこと。空堀川では熱心に鳥の写真を撮っている人、カモにえさをあげている人、つりをしている人なども見かけます。次回のウォーキングの会では空堀川のバードウォッチングが企画されていますが、鳥の写真を撮っていた人曰く「2月には渡り鳥も飛んで来て、珍しい鳥もいる」のだそうです。ただ残念なことに私は鳥に詳しくなく、わかるのはせいぜいカモやサギ程度です。双眼鏡と図鑑を用意すればもっとウォーキングを楽しめるかもしれません。ところでそのウォーキングの会ですが、参加したいと思いつつも、寒さにも負けそうな気がします。

○次号の原稿締め切りは1月22日（日）です。よろしくお願いいたします。（中村）

fax: 042-391-0581 email: mym-naka@u01.gate01.com

俳 壇

振舞いの酒の効き目や初ゴルフ 井垣 稻雀
 年男気合いを入れて初神籤 出田 麦穂
 月欠けて寒天に星余るほど 風間 和夫
 枯菊の風に任せて右左 菊田 一平
 列の先確かめに行く年の暮 幸田 瑞雄
 聞き上手話し上手の年忘れ 小亀 稻生
 水上バス乗場に飾る大熊手 小永井 哲哉
 はんぺんの白き浮きぐせ年つまる 落葉掃く老の背中の暮れてゐし 高部 糸行
 牡蛎鍋や話はいつも若き頃 許されし酒の僅かに除夜の鐘 戸田 梟
 曙光背に踊る影絵や冬木立 老々の声高に過ぐ去年今年 激論の空しさ抱き年忘れ 内藤 慎
 数え日のひと日を母の墓参り 蜘蛛去りし絹糸の網に枯葉揺れ 散歩する肌に滲み入る寒さかな 襟立てて友と流離う忘年会 丸本 北窓
 早稲田から都電に乗りて漱石忌 ぜんざいに笑む娘や窓の時雨たる 来し方を語る人なき年の春 八木 竜湖
 年つまる古書より落ちし正誤表 登校の息の白さや六年生 お歳暮の箱に笑顔も納めたし